

日刊

産 業 新 聞

Japan Metal Bulletin

2006年(平成18年)

4 / 6

木曜日 THU

第16514号

AMJ

北南米に供給基地拡大

レアメタル安定確保へ

レアメタル専門商社のアドバンストマテリアルジャパン(AMJ、東京都港区赤坂1-9-13、中村繁夫社長)は北南米地域への供給基地拡大を図る。レアメタル大国である

中国からの安定供給に不安があるため、北南米地域からのニッケル、モリブデン、タンタル、ニオブなどの安定供給を計画している。具体的にはカナダ、米国、キューバ、ブラ

ジル、チリ、ボリビアなどからの安定供給をめざす。すでに2005年11月に加トロントに駐在事務所を設置しており、供給基地拡大に乗り出している。同社は中国やCIS

地域からチタン、タンクステン、モリブデン、希土類をはじめとする各種レアメタルを輸入販売している。しかし、ここ数年の中国は急速な経済成長に伴う内需拡大や豊富なレアメタル資源量を背景にタンクステンやアンチモン、希土類など世界生産の8割以上を占めるレアメタルの輸出を削減。国際価格急騰の要因となっている。

中国の供給が世界の約2割に過ぎないモリブデン市場にとっても価格への影響力は大きい。特に05年4-6月期は鉄鋼添加や化学向けなどのおう盛な需要に対して、中国からの供給が減少したことで、需給バランスが崩れ、酸化モリブデン価格は過去最高値の純分ボンド当たり38%に急騰。その後は中国からの供給が増えたことで20%

前後まで下落するなど、中国次第の展開になっている。レアメタルの輸出抑制策を進める中国からの供給に依存すると、今後の安定供給に支障を来す可能性が高い。同社はこのため、従来中国、CIS地域以外に北南米地域にも供給基地を拡大することで、日本へのレアメタル安定供給体制を維持していきたい考えだ。